

神奈川県逗子市

史跡名越切通 整備基本計画策定報告書

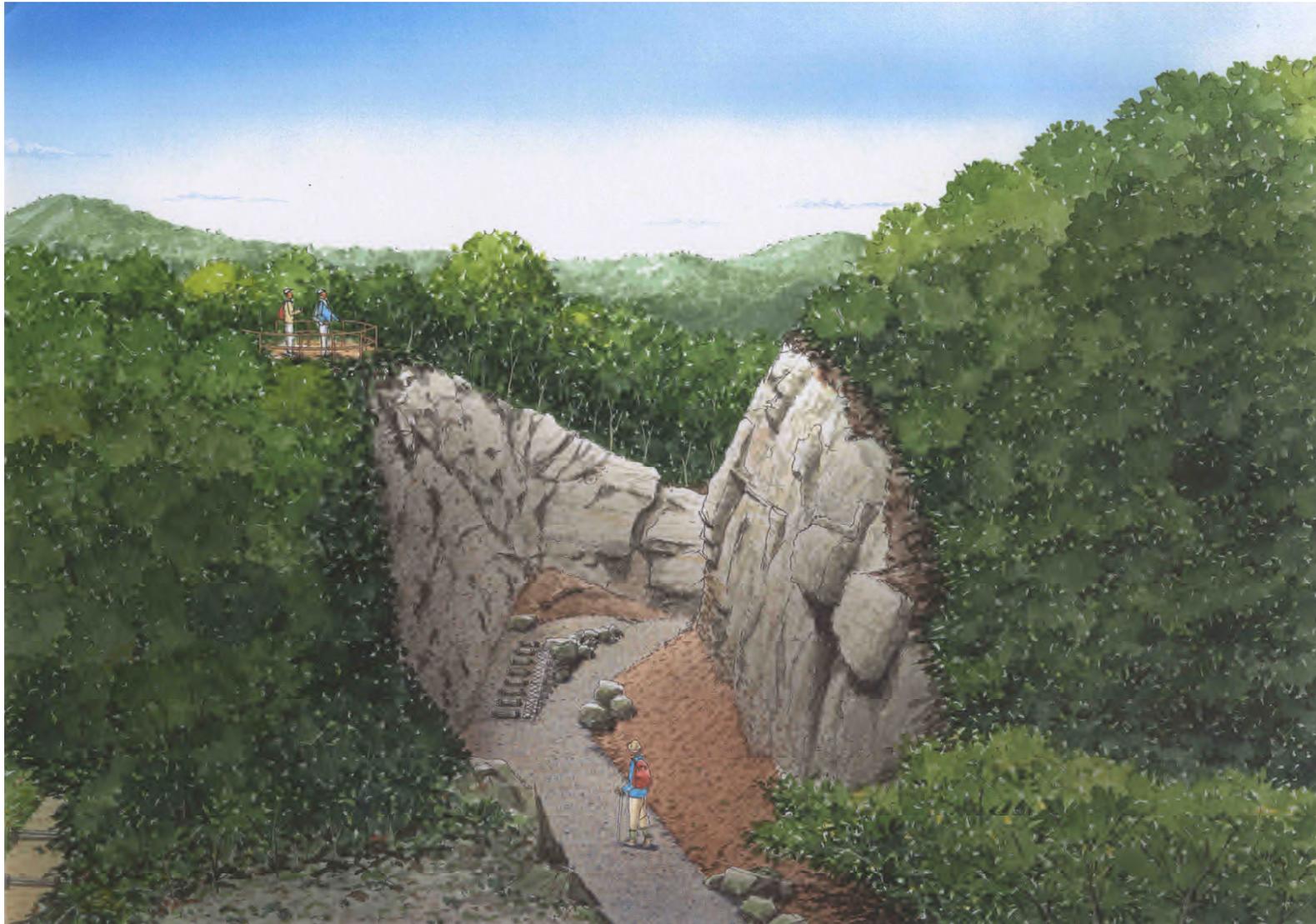
平成17年（2005年）3月

逗子市教育委員会



史跡名越切通全景 整備後の鳥瞰イメージパース図

歴史的遺産を保存するとともに、豊かな自然環境の中で歴史的な景観を楽しむ。



第1切通 整備後のイメージパース図

保存工事を行なった第1切通は、安全な通行が確保される。通行者は険しく切り立った壁面を見上げることで、鎌倉の地勢を実感することができる。



まんだら堂やぐら群 整備後のイメージパース図

中世の葬送供養の場であるやぐら群については、崩壊の危険があるやぐらに保存対策を講ずるほかは大きな手を加えず、前面平場の調査によって明らかになった遺構配置を表現整備することで、葬送をめぐる信仰空間の雰囲気伝えられるようにする。



大切岸 整備後のイメージパース図

長さ 800m以上にわたり、高さ 3~10mにもなる断崖が重層して連なる大切岸は、石切遺構、防衛遺構としての壮観さを保ち、憩いの場としても利用可能な空間として整備する。



整備前の第1切通：逗子側から鎌倉側を望む。壁面の岩盤は、割れ目に木根が侵入して浮石化するとともに、風化が進行している。



同：鎌倉側より。指定地内の切通路の中で、壁面の最も迫った箇所。現在の路幅は、ひと一人がやっと通れる程度である。



第 2 切通：高さの低い壁面は比較的安定している。



第 3 切通：鎌倉市との境界に程近くにあり、壁面はさほど高くない。通行路上に大きな石が点在している。



まんだら堂やぐら群の全景：中世の特徴的な葬送遺構であるやぐらが100基以上まとまって見ることができる鎌倉地方でも有数のやぐら群。



まんだら堂やぐら群の近景：岩盤の風化による経年劣化に加え、自生した樹木が成育し、木根が岩盤の割れ目を押し広げている。やぐらの側面や天井の崩壊が進んで一部浮石化し、やぐらの内部から運び出された石塔が雨ざらしで点在している。



現在の大切岸：切り立った崖面が特徴的な景観をつくる。間近に見ると、崖面の風化が著しい。



大切岸の遠景：岩殿寺より、大切岸の長大な全貌を望む。

序 文

逗子市は、中世を通じて武家の古都・鎌倉の文化圏であり、その外縁に開削された切通路は、首都の防衛の要であると同時に、交通の要所でもありました。なかでも名越切通をはじめ、いわゆる「七切通」は主要な道筋に開鑿された切通路で、古来より多くの人々が行き交い、いまもなお来訪者が絶えずに連続と歴史を刻んでいます。

名越切通は「七切通」のなかでも最も遺存状態がよく、垂直に切り立った岩肌を間近に眺めるとともに、周囲に広がる緑の中を歩きながら、往時の雰囲気を追体験できる魅力を備えています。

逗子市教育委員会では、岩盤の風化による切通の崩壊を食い止めるために、先端技術を投入しつつも、往時の趣を残すように心がけました。この工事に伴い、閉鎖させていただいた箇所もございましたが、今後は歴史を体感しつつ、より安全に通行していただけるように整備を行い、皆様の学習の場として、また憩いの場として積極的に活用していただきたいと考えております。

文化財は国民共有の財産であり、過去の人々が残してくれた遺産を、現在の私たちの手で守り、次世代に引き継がねばなりません。なかでも大地に刻まれた文化財である史跡は、地域の人々と密接に関わりながら現在まで守り伝えられてきたことに大きな意義があります。現在の我々が、創意と工夫を凝らし、アメニティのある地域づくりの一助としてその価値を享受しつつ、将来にわたって保存管理すべきです。

そのためには、管理にあたる自治体が、学術的な価値や効果的な保存の方法を追求するとともに、まちづくりの一環として、整備に取り組む必要があります。

ここに、整備の基本的なあり方を示す「名越切通整備基本計画」を策定いたしました。

今後はこの計画を土台に、実施計画、実施設計へと事業を展開してまいります。つきましては皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり、名越切通整備基本計画策定委員を快諾していただいた皆様には、多くのお力添えをいただきました。また、文化庁、神奈川県教育委員会をはじめ、各機関には有意義なご助言を頂きました。末筆ではありますが、厚く御礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

2005年3月
逗子市長 長島 一由

国指定史跡名越切通整備基本計画策定報告書

目 次

第1章 名越切通の整備にあたって

1. 史跡名越切通の足跡 ----- 1
 - 1-1 名越切通の歴史 ----- 1
 - 1-2 「まんだら堂」について ----- 3
2. 名越切通の整備の必要性とその基本理念 ----- 5

第2章 整備基本計画策定の目的と経緯

1. 計画策定の目的と期間 ----- 7
2. 経 緯 ----- 7
 - 2-1 国史跡指定から現在に至る経緯 -- 7
 - 2-1-1 史跡指定の経緯
 - 2-1-2 保存管理計画の策定
 - 2-1-3 追加指定による史跡地の拡大
 - 2-1-4 保存管理計画の再策定と整備基本構想の提示
 - 2-1-5 発掘調査による情報収集
 - 2-1-6 切通の保存対策の実施
 - 2-1-7 整備基本計画策定に至る状況
 - 2-2 史跡地公有化の状況 ----- 10

第3章 名越切通の諸環境と現状

1. 位置と歴史的背景 ----- 11
 - 1-1 位 置 ----- 11
 - 1-2 歴史的背景 ----- 11
2. 名越切通の現状 ----- 13
 - 2-1 遺構の概要と遺存状況 ----- 13
 - 2-2 立地条件 ----- 13
 - 2-2-1 交通アクセス
 - 2-2-2 市内の公共施設・集客施設
 - 2-3 土地利用上の法規制 ----- 15
 - 2-4 関連計画 ----- 15
 - 2-5 公開活用の現状 ----- 15
3. 名越切通の整備に向けた課題 ----- 20

第4章 整備方針

1. 基本理念 ----- 21
2. 基本方針 ----- 21
3. ゾーニングと整備方針 ----- 21
 - 3-1 A区：歴史空間ゾーン「切通」 --- 22
 - 3-2 B区：歴史空間ゾーン「まんだら堂やぐら群」 ----- 22
 - 3-3 C区：歴史空間ゾーン「大切岸」 - 25
 - 3-4 D区：便益施設ゾーン ----- 29
 - 3-5 E区：緑地景観保全ゾーン ----- 29
4. 整備の基本的な手順 ----- 29
 - 4-1 短期整備 ----- 29
 - 4-2 中期整備 ----- 30
 - 4-3 長期整備 ----- 30

第5章 整備基本計画

1. 遺構の保存及び維持管理の指針 ----- 31
 - 1-1 遺構の保存および維持管理の計画 - 31
 - 1-2 維持管理の全体計画 ----- 31
2. 各種調査検討計画 ----- 31
 - 2-1 遺構の現況調査計画 ----- 31
 - 2-1-1 遺構の遺存状況調査計画
 - 2-1-2 遺構の保存検討計画
 - 2-2 考古学調査計画 ----- 32
 - 2-2-1 遺構の調査計画
 - 2-2-2 遺物の調査計画
 - 2-2-3 遺物の保存計画
3. 歴史空間ゾーンの整備基本計画 ----- 33
 - 3-1 A区：切 通 ----- 33
 - 3-2 B区：まんだら堂やぐら群 ----- 33
 - 3-3 C区：大 切 岸 ----- 35
4. 便益施設ゾーンの整備基本計画 ----- 35
5. 緑地景観保全ゾーンの整備基本計画 - 36
6. 景観整備の計画 ----- 36
 - 6-1 史跡地内の景観 ----- 36
 - 6-2 史跡地からの景観 ----- 36
 - 6-3 史跡地外側からの景観 ----- 37

7. アクセス計画 -----	37
7-1 車輛動線-----	37
7-1-1 駐 車 場	
7-1-2 緊急・管理車輛	
7-1-3 定期バス路線	
7-2 歩行者動線-----	38
8. 周辺整備の計画 -----	39
8-1 関連事業の計画-----	39
8-2 周辺の観光・集客施設と広域動線計画	
-----	41
8-3 周辺の歴史環境整備ネットワーク--	41
9. 公開活用の計画 -----	42
9-1 情報発信-----	42
9-2 活用プログラム-----	43
10. 公開活用施設設置の計画 -----	43
10-1 屋外施設の計画-----	43
10-1-1 案 内 板	
10-1-2 説 明 板	
10-1-3 道 標	
10-1-4 ベ ン チ	
10-1-5 柵、フェンス	
10-1-6 門	
10-1-7 電気・水道施設	
10-1-8 史跡指定地外の屋外施設	
10-2 ガイダンス施設の計画-----	46
10-2-1 施設機能計画	
10-2-2 候補地の検討	
11. 事業計画 -----	48
11-1 事業スケジュール-----	48
11-1-1 短期整備計画	
11-1-2 中期整備計画	
11-1-3 長期整備計画	
11-2 今後の課題-----	51
11-2-1 ガイダンス施設用地の確保	
11-2-2 史跡の追加指定	
11-2-3 世界遺産登録への対応	
11-2-4 整備後の管理	

資料編

第1章 名越切通の諸環境

1. 自然環境-----	55
1-1 地 勢-----	55
1-2 気 候-----	55
1-3 地 質-----	55
1-4 植 生-----	57
1-5 動 物-----	58
2. 社会環境-----	58
2-1 逗子市の概要-----	58
3. 歴史的環境-----	64
3-1 考古学調査成果-----	64
3-2 名越切通周辺に所在する文化財の状 況-----	64
4. 資料-----	70
資料-1 国史跡名越切通に関する主たる経緯一覧	
資料-2 史跡指定地内の土地利用(地目)および所 有者状況(平成16年現在)	
資料-3 国指定史跡名越切通整備基本計画策定委 員会設置および運営に関する要項	
資料-4 委員名簿	
資料-5 委員会検討経過	
資料-6 逗子市広報[2004年12月1日号]	

第2章 現況調査

1. まんだら堂やぐら群現況調査-----	77
1-1 調査目的および対象範囲-----	77
1-2 調査内容および方法-----	78
1-3 調査結果-----	79
1-4 平成17年度以降のやぐら群保存対策 方針および方法-----	85
2. 第2・第3切通現況調査-----	91
2-1 調査目的および方法-----	91
2-2 調査結果-----	91
2-3 今後の対応方法-----	91
3. 大切岸現況調査-----	95
3-1 調査目的および方法-----	95
3-2 調査結果-----	95
3-3 今後の対応方法-----	95

巻頭グラビア

- 整備後のイメージパース図
- 現在の名越切通の状況写真

図表目次

本編

第2章

図2-1	本計画策定に至る経緯	7
図2-2	『(新)保存管理計画』で提示された基本理念と整備基本構想	8
図2-3	史跡指定地の公有化率	10
図2-4	史跡指定地内の所有者区分	10

第3章

図3-1	名越切通の位置	11
図3-2	鎌倉七口と周辺の主な遺跡	12
図3-3	逗子市周辺の鉄道および主要道路	13
図3-4	公共・集客施設の分布状況	13
図3-5	史跡指定地周辺の法規制	17
表3-1	史跡の概要と遺存状況	14
表3-2	史跡指定地及び周辺区域にかかる法規制	16
表3-3	史跡に関連する上位計画等	19
表3-4	整備に向けた課題	20

第4章

図4-1	目的別土地利用のゾーン分け（ゾーニング）	23
図4-2	各ゾーンごとのエリア区分	27
表4-1	歴史空間ゾーンの整備方針	26

第5章

図5-1	広域動線	41
図5-2	古刹を結ぶネットワーク	41
図5-3	短期整備計画	50
図5-4	中期整備計画	50
図5-5	長期整備計画	51
図5-6	史跡指定地内の整備計画図	53
表5-1	A区：切通の整備基本計画	33
表5-2	B区：まんだら堂やぐら群の整備基本計画	33
表5-3	C区：大切岸の整備基本計画	35
表5-4	D区：便益施設ゾーンの整備基本計画	35
表5-5	E区：緑地景観保全ゾーンの整備基本計画	36
表5-6	関連する補助事業例	40
表5-7	ガイダンス施設の展示計画	46
表5-8	年次別整備計画	49

資料編

第1章

図1-1	逗子市における平成15年の気象状況	55
図1-2	名越切通周辺の地質図	56
図1-3	名越切通周辺の植生	57
図1-4	タイワンリスの2001年の分布域	58
図1-5	三浦半島の基部に位置する逗子市	58
図1-6	人口の推移	59
図1-7	逗子市の観光客数推移	59
図1-8	逗子市の主要観光地別来訪者数	59
図1-9	鎌倉市の観光客数推移	59
図1-10	鎌倉市の主要観光地別来訪状況	59
図1-11	逗子市周辺の主なバス路線	60
図1-12	市の公共施設の利用状況	60
図1-13	まんだら堂アンケート結果	63
図1-14	逗子市のハイキングコース・指定文化財	65
図1-15	名越切通近在の文化財(寺院)	65
表1-1	確認された植生群落	57
表1-2	アンケートに寄せられた意見例	61
表1-3	名越切通およびその周辺地区における調査一覧	64
表1-4	逗子市内の指定文化財一覧	64

第2章

図2-1	まんだら堂やぐら群位置図	77
図2-2	壁が無くなり、天井からの荷重に耐えられず崩壊するメカニズム	81
図2-3	樹木の荷重や、木根により割れ目が広げられ崩壊するメカニズム	82
図2-4	やぐら外石塔位置図	84
図2-5	保存対策の基本的な考え方	85
図2-6	No.23やぐら概略平面図・縦断図	87
図2-7	第2切通状況図	92
図2-8	第3切通状況図	93
図2-9	大切岸状況図	97
表2-1	現況調査の内容	78
表2-2	やぐら現況区分表	79
表2-3	各区分ランク別でのやぐら数	79
表2-4	対策対応が特に必要なやぐら	80

